

屏風から見る寛永行幸

～「寛永行幸四百年祭 一年前記念シンポジウム」を9月6日に開催～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では「寛永行幸」※から四百年の節目を迎える令和8年度に「寛永行幸四百年祭」を開催します。
- 機運醸成のため、「寛永行幸」が描かれた「二条城行幸図屏風」を題材としたシンポジウムを9月6日に開催しますので、周知と取材をお願いします。

※寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などに記録に残され、後世に語り継がれてきた。「二条城行幸図屏風」（京都市指定文化財、泉屋博古館所蔵）には、行幸の行列とそれを見物する多くの民衆が描かれている。

1 日時

令和7年9月6日（土）13時30分～16時30分（開場 13時）

2 場所

京都府公館 レセプションホール（京都市上京区 一条下る龍前町 590-1）

3 内容（予定）

（1）趣旨説明「寛永行幸四百年祭」について（13:30～13:40）

（2）講演「二条城行幸図屏風の絵画的特質」（13:40～14:00）

講師：実方 ^{さねかた} 葉子 ^{ようこ} 氏（泉屋博古館学芸部長）

（3）講演「『二条城行幸図屏風』から見た有職と装束」（14:00～14:20）

講師：山科 ^{やましな} 言親 ^{ときちか} 氏（衣紋道山科流若宗家、山科家 30 代後嗣）

（4）講演「都市民が見た二条城行幸」（14:20～14:40）

講師：西山 ^{にしやま} 剛 ^{つよし} 氏（京都文化博物館主任学芸員）

（5）講演「二条城行幸 絵画と記録」（14:40～15:00）

講師：松本 ^{まつもと} 直子 ^{なおこ} 氏（元離宮二条城事務所学芸員）

～休憩～（15:00～15:15）

（6）パネルディスカッション、クロストーク（15:15～16:30）

登壇者：実方 ^{さねかた} 葉子 ^{ようこ}、西山 ^{にしやま} 剛 ^{つよし}、松本 ^{まつもと} 直子 ^{なおこ}、山科 ^{やましな} 言親 ^{ときちか} ※五十音順

4 参加方法

専用サイトから申込

URL <https://peatix.com/4513425>



5 定員

先着90名

6 参加費

無料

7 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：Living History KYOTO

協力：泉屋博古館

【参考】

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 津田 TEL 075-414-5070



まゆまる